

武利及び丸瀬布地区に 「虫のいえ」をつくろう

〒099-0203
北海道紋別郡遠軽町
丸瀬布中町3番地
<https://www.maru-mushi.com>



つづける助成

1年目

実践



木を入れて「虫の家」完成

「虫のいえ」の計画・調査 35人

虫の家の管理ができる
延べ人数 180人

今年度計画の達成度 90%

活動の全体目標に対する
達成度 60%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

前例が見つからず、大きさや設置場所・入れる木の種類など試行錯誤で取り組んだ。子どもたちが関わる設備であり安全に気を配った。

■ 工夫した点

中に入れる木は、12種類探し伐採して準備した。屋根にはしいたけ用のマットを敷き詰め屋根の間には麦わらを入れ虫を呼びつけた。

課題

昆虫を飼育している子は数人であり、1度もつかまえたことのない子は7割を超える。地域住民や子どもたちが地域の豊かな自然に興味を示さなくなっている現状がある。

目標

虫をさわれる・つかまえることができる子どもが30%増える。地域の自然に興味関心を示す人を増やす。

活動内容と成果

「虫のいえ」の取り組みにより、参加した子どもたちはどのような虫が入るかの希望を持ち、いえの中に木を入れた。秋の観察会では、ワクワクしながら木を取り出し、出てきた虫に歓声を上げ興味を示した。また腐りかけた木に虫が

多くいたことから、「虫が入りそうな腐りかけた木がほしい」との意見が子どもたちから出てきた。自分たちのまわりの倒れた木を起こして虫の有無を確認する子が出たり、学芸員の解説に質問したりする子も出てきた。何気ない身のまわりの自然の中に昆虫が住み着いているのだということがわかったことの成果が大きい。



木を取り出して虫を探す子どもたち

今後の展望

冬を越した「虫のいえ」はどのようになっているか。29年度は比較的新しい木を入れたが、次年度製作する「虫のいえ」には、朽ちた木を入れたらどのようになるかを子どもたちの意見を生かしながら進めていきたい。